

岩見沢市

緑の相談コーナーだより

N.O. 312 2011. 6. 1 発行

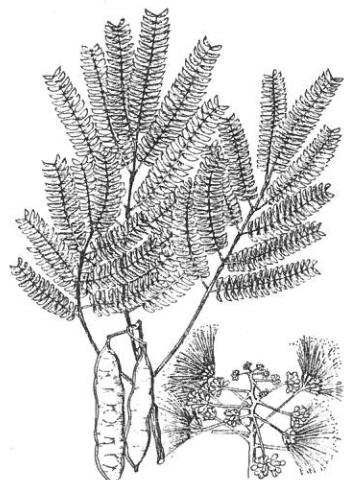
岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “ネムノキ”（合歓木） ～紅の付いた刷毛を想わせる花が咲く樹～

マメ科ネムノキ属の落葉高木で、人気の高い園芸品種に矮性の一才ネムもあります。一才ネムは 50 ~ 60 cm の高さで早くも花をつけ、花色も鮮桃色で美しく、鉢植栽培も可能です。ネムノキは別名「夜合樹」、古名は「ねぶ」で、『万葉集』にも登場します。本州、四国、九州の山野にふつうに生え、イランから南アジアにも分布します。この樹木の仲間は、世界の熱帯から暖帯に約 100 種あり、花は鮮紅色が多く、いかにも南方の樹木を連想しますが、植栽されたものは道内にも生育し、岩見沢市内でも時折みかけます。通常、高さは 10 m 前後で、まれに 20 m に達するものもあります。7 月頃（本道では 8 月）、小枝の先に花柄を伸ばし、淡紅色の花を傘状につけます。5 枚の花弁は小さくて目立たず、長さ 4 cm ほどの糸のような細長い雄しべがたくさんあり、これが娘さんのマツゲのようで、紅色に美しく映えます。開花は夕暮れ時で、同時に葉が表面を合わせて閉じ、あたかも眠りにつくようです。また、夜明けとともに花はしづきます。

樹名の由来は、『大和本草』に「夜は其葉合ゆヘネフリノキと云、故に中華には夜合葉と称す」とあることからも、夜、葉を閉じ合わせ（睡眠運動）眠っているように見えることに由来するといわれます。また、春になっても新芽がなかなか出て来ないことから、眠っている樹だということによるという説もあります。夜になって葉の合うのを眠りに見立て「ねむのき、ねむのき、寝やしやんせ、お鐘がなったら起きしやんせ」といった子守歌が敦賀地方で歌われています。また、この樹は、古今人の怒りをのぞくとして、庭に植えることが奨励されたことが『博物志』や『養生論』などで紹介されています。



Albizia Julibrissin DURAZZ.
ネムノキ

この樹は、公園や庭園の風致木として植えられたり、街路樹などに用いられる外、マメ科であることから、根粒バクテリアの作用により、地力改良の効果があります。このことから、せき悪乾燥した砂地の緑化に有用な樹木となっています。また、材の用途は、軽軟で強度は小さいが、乾燥、切削加工が容易で材面に光沢があることから、器具材、箱材、胴丸火鉢、簾笥の前板、下駄の歯などに用いられます。樹皮にタンニンが含まれ、夏期に集めた樹皮を天日乾燥したものを生薬で合歛皮といい、利尿、強壮、鎮痛、驅虫の効果があり、打撲傷の治療や咳止めにも用いられます。

ねむの木がそっと開いたプロポーズ

竹山逸郎

象潟や雨に西施がねぶの花

芭蕉



公園だより

バラ園

今年は雪解けが遅れ、その後も寒い日が続き、サクラの開花や畑作業も大幅に遅れてやきもきする日が続きましたが、皆さん方の園芸暦は順調に進んでおられますか？

バラ園では、今年から始まったリニューアルの作業に忙しい毎日ですが、新バラが力強くシートを伸ばし、ハマナスの丘では、香りの良い花をほころばせ始めております。今月の下旬にはバラの1番花が咲き始め、いよいよ花の季節となります。この時期のバラ園周辺は、初夏の躍動感に溢れています。ぜひ覗いて見て下さい。

♥ 今月のバラ園からの一口メモは、初夏を迎えての作業、バラの病害虫防除についてです。花の女王ともいわれるバラには、敵も多いのです。園芸植物の中でもバラの病害虫はトップクラスで、この防除がうまくいけばバラ作りは半ば成功です。この時期で一番恐ろしいのはウドンコ病とアブラムシでしょう。ウドンコ病は空気伝染であつという間に広がりますし、アブラムシは越冬の卵から雌ムシがかえり、ほうっておくと、単為生殖で短期間に大量増殖しますので注意が必要です。ウドンコ病には所定の殺菌剤、アブラムシにはオルトランやスミチオンなどの殺虫剤を散布しましょう。消毒の時期は新葉の伸びきった頃が1回目の防除の目安です。

室内公園色彩館では、香りの良いタイサンボクの白い花が咲きはじめました。また、岩見沢のオリジナルのバラである、スカーレット・イワミザワの鉢植えが次々に咲き、来館される人を楽しませております。フクシアやマーガレットなどの花も咲いて、ここは屋外に先駆けて花の季節を迎えております。

南国温室では、レモンがたわわに実り、アンスリウムやカラー、ハイビスカスなどが咲いて、一足早い夏の訪れます。ガジュマルやベンガルボダイジュも生い茂っており、南国気分が満喫できます。

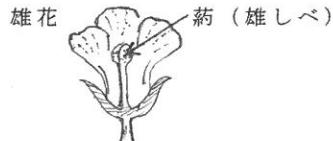
相談日記

問 昨年、初めて家庭菜園に挑戦しました。葉野菜類はまあまあの出来だったのですが、スイカは果実が生長しないまま茶色くなってしまい、また、キウリは花が咲いていたのにさっぱり実らず、2本ほど収穫しただけでさんざんでした。病虫害に冒されたようではありません。原因として何が考えられるでしょうか？今年は少しでも収穫したいと思っています。治療法や対策などがあれば知りたいのですが。

答 実際に相談業務をしていてよくある質問です。まず、スイカですが、雌花に受粉されていないことが原因と思われます。スイカは一本のツルに雄花と雌花が別々に開花します。ふつう雌花は、ツルの（親ヅルでも子ヅルでも同じ）8～12節に1番花がつき、その後5～10節ごとに着花します。本道では3番花に受粉し着果させ、この受粉後45日くらいで収穫します。受粉は媒介昆虫によって行われることがありますが、近年、街中の家庭菜園では、媒介昆虫が少なく、放任栽培では受粉できない状態にあります。この場合、人工授粉を行わなければ着果させることができません。それで、雌花が着果しない状態でしおれてしまうのです。人工授粉は、雌花が開花した日の朝、8時頃までに雄花の花弁を取り除き、葯をむき出しにして雌花の柱頭に軽くなすりつけるようにして行います。こうすれば確実に着果が約束されるのです。

キウリの場合は、花はスイカと同じように雌雄異花ですが、受粉・受精しなくても果実が大きくなる単為結果という性質をもっています。ふつう雌花が開花してから1週間か10日で収穫できます。しかし、品種によって雌花の着きかたに違いがあります。各節に雌花の着く、節成性の高い品種とそうでないもの、親ツル（主ヅル）に雌花が着くものと子ヅル・孫ヅルに着果する品種があるので、栽培する品種の性質をよく知っておく必要があります。例えば、子ヅル・孫ヅルに着果する品種で、このツルを摘心して親ヅルのみを伸ばしたのではさっぱり収穫できないことになる訳ですから、気をつけましょう。

人工授粉の仕方



薬をむき出しにして雌花の柱頭に

軽くなすりつける

ユリに似た小型で可憐な花～アルストロメリア 花言葉 幸福な日々



ヒガンバナ科アルストロメリア属の多年生球根で、南米アンデス山地原産の半耐寒性植物です。わが国には大正9年に渡来し、おもに切り花用に栽培されてきました。その後、第二次世界大戦後にイギリスから交雑種のハイブリッドが入って栽培が盛んになり、切り花、鉢物、庭園用などに用いられるようになりました。可憐でユリのような花形をしていることから、別名ユリズイセンとして親しまれています。ところで、属名のアルストロメリアは、リンネの友人であったスエーデン人の植物学者アルストレーメルに因んで名づけられました。ほとんどの品種は地植えが可能ですが、苗よりも鉢花で流通しているようです。鉢植えは、日当たりの良い屋外で管理します。11月になったら、鉢ごと地中に埋めて積雪下にして、そのまま越冬させます。なお、植え付け時には、一般的の草花よりもやや多めの堆肥や緩効性の肥料を施し、生育状況により、液肥を与えるようにして下さい。

6～7月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

♣ コンテナガーデンの基本

日時 6月 5日（日） 13：00～15：00

講師 恵庭サンガーデン 土谷 美紀 さん 定員 40人 参加料 無料



♣ 庭木・花木管理の基本

日時 6月 12日（日） 13：00～15：00

講師 緑化相談員（樹木医） 泉 征三郎 定員 40人 参加料 無料

♣ バラ園のバラを使ったアレンジメント

日時 7月 10日（日） 13：00～15：00

講師 フラワーデザイナー 富井加代子 さん 定員 30人 材料代 1000円

♣ バラの美しい写真の写し方

日時 7月 17日（日） 10：00～12：00

講師 ナチュラリー写真家 若林 信男 さん 定員 20人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111まで